



ロータリー:
変化をもたらす

2017-2018 年度

国際ロータリー会長 / イアン H.S. ライズリー 会長 / 佐々木 哲也 副会長 / 小汀 泰之
2690 地区ガバナー / 池上 正 幹事 / 曾田 敏康 会計 / 高砂 明弘

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
4月19日	地区研修協議会報告 ①	小汀・來間・堀江 会員
4月26日	地区研修協議会報告 ②	福田・佐々木・原泰 会員
5月3日	休会	
5月10日	ホテルほり江 18:30~	2100 回例会

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
44	31	13 (5)	79.49 %	89.47 %

■欠席者

原孝 / 飯塚詔 / 飯塚俊 / 石原俊 / 松浦 / 板垣 / 三好 / 園山 (山根 / 牧野 / 遠藤 / 大谷厚 / 岩浅)

■来訪者

なし

■メークアップ

4/12 河原・清原・釜屋・黒田・久家・松浦・楨野・三好・持田稔
持田祐・大島淳・高砂・堀江・日野 (家庭集会)
4/15 小汀・來間・堀江・福田・佐々木・原泰 (地区研修・協議会)

■次回例会受付当番

(4月26日) 持田稔樹 / 原 泰久 / 堀江卓男
(5月10日) 大谷良治 / 飯塚大幸 / 飯塚詔夫

■近隣クラブ例会情報 (メークアップを考えましょう)

月	出雲中央 4/23(-) 5/21 5/28(-) 6/18 6/25(-)	松江南 4/23
火	出雲 5/1(-) 6/26	松江しんじ湖 5/1
水	大社 5/2(-) 5/9 5/30	松江 5/2 6/20 6/27
木	(-) ; ビジター受付 なし	松江東 4/26(-) 6/21 6/28(-)
金	出雲南	

■会長挨拶

4 月はロータリーの特別月間「母子の健康月間」です。先週配布されたガバナー月信には、妊婦の死亡率と罹患率の削減、5 歳未満の子どもの死亡率と罹患率の削減、母子に対する基本的な医療サービスの提供などを強調する月間と紹介されていました。

妊婦の健康管理には、産婦人科医が関わることは言うまでもありません。私は産婦人科医ではありませんが、若かりし頃に約 2 ヶ月半という限られた期間産婦人科の先生と一緒に仕事をする機会がありました。

大学卒業から 1 年、医師免許取得後 10 ヶ月の 1988 (昭和 63) 年 3 月に、当時の教授から、香川県丸亀市にある私立の総合病院に外科医として勤務するよう突然に指示を受けました。他の大学から派遣されていた前任の 1 人外科医が 3 月末をもって退職するためその後任として赴任するよこの命令でした。

その病院では、外科外来での診療の他に、産婦人科でおこなわれる帝王切開手術などの腰椎麻酔を受け持つことができました。ベテランの産婦人科の先生も 1 人体制でしたので、日常的に外科医が腰椎麻酔を受け持つことになっていたようです。幸い事故なく無事に子どもの出産を見届けることができましたが、時にはヒヤッとすることもありました。

最初の 1 ヶ月は医局の先輩医師と一緒に勤務し、指導してもらいました

が、2 ヶ月目からは一人で日々の仕事をしなければならぬ状態になりました。平成 16 年以降は、2 年間の初期研修が必修化されていますので、今の医療情勢ではとても考えられないことです。

その後、5 月下旬、教授から、5 月いっぱい帰ってくるよこの突然の電話連絡があり、後任者のないまま引き継ぎをおこない 6 月中旬に出雲に帰ってきました。大学の研修医としての籍も残ったままになっていたようで、私の履歴書には記載されない職歴になっています。

ちなみに、1988 年の春の四国香川県といえば、同年 4 月 10 日に瀬戸大橋が開通しています。3 月末には、岡山県宇野港と香川県高松港を結ぶ宇高航路のフェリーで四国へ渡り、6 月に四国を去る際には瀬戸中央自動車道を走行して出雲に帰ってきました。今から 30 年前の出来事でした。

■幹事報告

1. 万田の郷 前施設長 小中浩二様ご退任、施設長 荒木尚司様ご就任のご挨拶状をいただきました。
2. 地区財団事務所よりロータリーカードの有効期限の確認について。直近の期限は H30.4.30 ですので、該当の方お知らせください。

■委員会報告

会員増強・会員維持委員会 : 5 月 31 日開催の親睦趣味の会 案内および 夜間例会のお知らせ

■スマイル

佐々木 (本日、お手元にクラブ協議会の資料を配布しておりますので、皆さん御確認下さい。)

曾田 (4 月 29 日(日) 愛宕山公園動物まつりを開催致します。子供様、お孫様と一緒にご来園下さいませ。)

久家 (先週いただいた友誌 4 月号の「声」の欄に私の意見がのりました。先日の家庭集会の時、河原先生も同じようなお気持ちだとお聞きしましたのでスマイルします。)

■スピーチ・例会行事

地区研修・協議会報告

会長部門

小汀 泰之

H30/3/3-4 には PETS、H30/4/15 には地区研修・協議会が岡山で開催されました。その報告は、以下の通りです。



1. 2018-19 年度 RI 会長テーマと第 2690 地区スローガン

(1) 2018-19 年度 RI 会長テーマ
《RI 会長 パリー・ラシン(パハマ)》

テーマ: BE THE INSPIRATION
「インスピレーションになろう」

⇒「ロータリー活動を一層鼓舞しよう」となっています。

【Inspire】⇒【inspiration】の意味は、人を奮い立たせる、感動を呼び起こす、吹き込むと言う意味です。

2017-2018 年度イアン H.S. ライズリー RI 会長のテーマ“ROTARY



MAKING A DIFFERENCE”「ロータリー：変化をもたらす」の延長線上にバリー・ラシン会長の“BE THE INSPIRATION”「インスピレーションになろう」があります。ロータリー活動を一層鼓舞し、「素晴らしいロータリアンとなろう、素晴らしいロータリーのリーダーとなろう。そして、地域社会のために、国のために、より良い世界のために奉仕しよう」との呼びかけがありました。

また、両会長の共通の思いが「持続可能性」です。持続可能な組織を創っていくためには、単年度で終了する事業ではなく、複数年(ある程度長期的視点)で創り上げていく事業を企画・検討・推進するための「戦略委員会(仮称)」の設置が、必要になります。地区研修・協議会では、戦略委員会設置が狙上に上りました。当クラブでは、佐々木会長年度から非公式に検討が進められています。

(2) 地区スローガン

「チャレンジしよう」です。

◎最重点目標:

会員増強

(各クラブ純増最低1人増強)

○重点目標:

- ①ロータリー賞の取得を目指す
- ②ポリオ撲滅への協力
- ③ロータリー財団への支援
- ④ロータリーカード普及への協力
- ⑤米山記念奨学会への支援
- ⑥地区補助金の活用
- ⑦グローバル補助金の活用

強調されたのは「財団へ寄附することが目的ではなく、財団からの補助金を使って事業をすることが本来の目的だ！」ということでした。

2. PETSに参加して学べたこと

・会長としてのあるべき具体的姿を学べたこと

・「ロータリーは、出会いの最高の場」だと教わりました。こうした素晴らしい出会いを活かすも殺すも、自分次第です。平田クラブが「出会い」の最高の場所であるよう、その雰囲気づくりまた環境づくりに努力していきたいと思っています。

幹事部門

来間 久

当日は、曇りときどき雨模様の中、一路 岡山へと向かいました。蒜山を越え、岡山に入るにつれ、晴れの国を思わせるような天気となってきました。

まずは、全体会にて、国際ロータリーのバリー・ラシン会長の方針、そしてテーマ「インスピレーションになろう」の説明が、末長次年度ガバナーからあり、さらに、末長次年度ガバナーから、地区方針、目標、地区スローガン「チャレンジしよう」についての説明がありました。

(その後、昼食をとり、各部門へ分かれての研修がありました。)

幹事部門研修としては、次期地区代表幹事 洗井健一さんをリーダーとして、幹事役の実務と心構えなどを説明いただきました。

- ・主には、MY ROTARY の活用(ネットへの登録)
- ・ロータリーセントラル 目標値に関して、Rotary.org での手続き、
- ・年間を通して、の仕事・手続きなど、
- ・リソースの活用や資料の管理など、簡単に説明いただきました。

My Rotary へのアカウント登録し、「クラブを成功に導くリーダーシップ 幹事



編 2016-2019 版)をダウンロードして、その冊子を良く読みながら業務を実行して下さいとのことでした。帰宅後早速に登録をし、冊子をダウンロードしました。これから熟読します。

次期幹事次期地区代表幹事からの幹事の役割などについての説明後、各RCの次期幹事、一人ひとりに1分スピーチがあり、各クラブの特徴や、取り組み内容、困っていることなどお話しをされ、その場で、アンケートをとったようなかたちとなりました。他クラブで、多くあった意見として、クラブの会員数が減っているということをお話される方が多かったです。そういった状況ですので、会員増強をうたっているところが多かったです。全員のスピーチが終わり、カウンセラーの森田バスターと佐藤バスターより意見・感想をいただきました。

○情報として、出雲中央ロータリークラブさんが、次次年度、古瀬ガバナーさんを輩出されますが、その事務局として、玉木製麺の元社長の平田さんが事務方の常駐者として勤務なさるので、一緒に研修に参加されています。



皆様へ、次年度、幹事となる予定です。どうぞよろしくお祈りします。幹事スイッチを強制的に入れさせられた、地区研修・協議会でした。

職業奉仕部門

堀江 卓男

職業奉仕部門に出席させていただきました。カウンセラーは元 RI 理事の渡辺好政様とバスターの延原正様、リーダーは児島 RC 次年度ガバナー補佐の岡本紀久様ですすめられました。

初めに元 RI 理事の渡辺様から職業奉仕とはと題して講演がありました。印象深かったのは、奉仕とは、ごく一般的なボランティアとはちょっと違います。ロータリーの奉仕とは、相手のために、相手の事を想う、相手につくす、考える、おもんばかり事といわれました。今、流行の忖度ねと思いました。

講演のあと各クラブの活動紹介では、平田クラブのように職場訪問、従業員表彰はかなりあるようです。それ以外の活動の発表があり、高校生対象に就職の模擬面接をメンバーが行っているクラブや、若くて仕事に熱意をもって人を表彰するクラブ、税理士、弁護士、保険屋さん等の無料相談会を行っているクラブが2クラブありました。

最後に質疑応答があり、社会奉仕と職業奉仕の違いが分かりません。という問いに元 RI 理事渡辺様が答弁され、先ほどの無料相談会は社会奉仕になるようです。無料相談会を行っている2クラブは撃沈だと思いました。様々な討論で、職業奉仕とは、職業倫理を高め、職業で行う以上、お金はしっかりと頂いて行う事だと言われました。平田ロータリークラブの会員さんも行っておられた、へき地での診療所これは職業奉仕になると思いました。

全体的感じたのは、職業奉仕とは、これだという定義は見えず、大変に難しく感じました。

※他の委員会の報告は、次週につづく。